

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社トーカイ 上場取引所 東  
コード番号 9729 URL <https://www.tokai-corp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅井 利明  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・システム本部長 (氏名) 藤井 哲行 (TEL) 058(263)-5111  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	67,865	5.9	3,684	3.3	3,869	4.0	2,626	△16.1
2023年3月期第2四半期	64,091	6.3	3,567	△6.8	3,720	△12.6	3,130	11.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,172百万円( 2.3%) 2023年3月期第2四半期 3,100百万円( 16.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	74.62	—
2023年3月期第2四半期	88.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	115,701	83,976	72.1
2023年3月期	110,785	82,223	73.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 83,396百万円 2023年3月期 81,654百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	21.00	—	39.00	60.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	26.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,609	4.2	7,437	△5.3	7,804	△3.4	5,121	△16.1	145.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	36,041,346株	2023年3月期	36,041,346株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	834,376株	2023年3月期	814,728株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	35,204,169株	2023年3月期2Q	35,213,869株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上における位置づけが「5類」に引き下げられたことなどにより、経済活動が急速に正常化する一方で、あらゆる業界において人手不足が深刻化するなど新たな社会課題が顕在化しております。また、エネルギーや原材料価格の高止まりなどによるさまざまなコスト上昇は引き続き事業活動に影響を及ぼしており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおいては、2025年3月期までを計画期間とする中期経営計画「Challenge for the new stage!」に掲げる各種施策の推進に取り組むことで、より一層の事業成長を図っております。利益面については、各種コスト高や人手不足による影響など中期経営計画策定時点の想定と大きく異なる状況が生じておりますが、リネン類の洗濯工場における生産性向上や間接部門における業務改善の推進、お客様への適正価格でのサービス提供などにより最大限の収益確保と従業員一人当たりの付加価値向上に努めることで、中期目標の達成を目指し取り組んでまいります。

また、関東エリアの新たな基幹工場として建設を進めてきた埼玉工場(埼玉県毛呂山町)が2023年9月末に竣工し、10月以降、既存の横浜工場及びさいたまメンテナンスセンターから生産機能の移管を順次進めております。当工場の本稼働により、関東エリアにおける病院関連事業とシルバー事業の生産効率の向上およびさらなる事業拡大を一層推進してまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、コロナ禍でも当社グループの成長をけん引してきたシルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略商品「入院・入居セット」が引き続き好調に推移いたしました。コロナ禍で厳しい環境が続いていた宿泊施設向けの寝具・リネンサプライ事業についても、観光需要の拡大に伴い順調に回復しております。また、人手不足を背景にリネンサプライ事業者向けの省人化設備や、手間をかけずに清潔を保つトイレ周り商品などの需要が拡大しており、「清潔と健康」をテーマとした当社グループの各事業において、お客様の課題解決に資するサービスの提供に注力しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高67,865百万円(前年同四半期比3,773百万円増、5.9%増)、営業利益3,684百万円(前年同四半期比117百万円増、3.3%増)、経常利益3,869百万円(前年同四半期比148百万円増、4.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,626百万円(前年同四半期比503百万円減、16.1%減)となり、売上高は過去最高を更新いたしました。

## [セグメント別状況]

## ① 健康生活サービス

シルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略商品である「入院・入居セット」の売上が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていた寝具・リネンサプライ事業及びクリーニング設備製造事業の売上が、観光需要の拡大に伴うホテル・旅館稼働率の回復、リネンサプライ業界の省人・省力化設備への投資意欲の高まりにより伸長したことから、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、増収効果のほか、エネルギー価格高騰に対応したお客様への提供価格見直しやエネルギー原単位改善等生産性向上に努めたことによる利益貢献はあるものの、コロナ禍の収束に伴うレンタル資材費の増加、事業拡大のための人件費の増加、10月から稼働の埼玉工場に係る一時費用の発生等により前年同四半期比減益となりました。

売上高	34,910百万円	(前年同四半期比	1,876百万円増、	5.7%増)
営業利益	3,009百万円	(前年同四半期比	194百万円減、	6.1%減)

## ② 調剤サービス

当期3店舗の出店により、152店舗の事業展開となりました。

前期に出店の4店舗を含めた新店効果による処方箋枚数の増加及び処方箋単価の上昇により前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、薬剤師による在宅訪問サービスや、医療機関、介護福祉施設、地域包括支援センター等との連携など、かかりつけ機能の強化に取り組んだ結果、技術料売上が増加し、前年同四半期比増益となりました。

売上高	25,535百万円	(前年同四半期比	1,338百万円増、	5.5%増)
営業利益	1,201百万円	(前年同四半期比	120百万円増、	11.1%増)

## ③ 環境サービス

ビル清掃管理事業が、感染対策など付加価値の高いサービスへの需要が引き続き高まる一方、コロナ病棟受託業務の減少などにより減収となったことに加え、太陽光発電の出力制御により太陽光事業が減収となりましたが、リースキン事業において非連結子会社を吸収合併したことにより、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、リースキン事業における非連結子会社1社、連結子会社1社を吸収合併したことによる業務集約、効率化等の統合効果が利益に貢献しました。また、ビル清掃管理事業においては、工程改善に加え、前期に発生した新規事業所立ち上げに係る一時費用等がなくなったことにより収益性が改善したほか、前期には不動産事業においても不動産売却に向けた一時的な費用の計上があったことから、前年同四半期比増益となりました。

売上高	7,332百万円	(前年同四半期比	571百万円増、	8.5%増)
営業利益	732百万円	(前年同四半期比	177百万円増、	32.0%増)

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の110,785百万円から4,916百万円増加し、115,701百万円となりました。これは、現金及び預金が3,045百万円減少したものの、建設仮勘定(有形固定資産「その他」)が3,394百万円、投資有価証券が1,496百万円、受取手形及び売掛金が1,294百万円、棚卸資産が1,068百万円増加したことが主な要因となっております。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末の28,562百万円から3,163百万円増加し、31,725百万円となりました。これは、未払消費税等(流動負債「その他」)が287百万円減少したものの、未払金(流動負債「その他」)が1,738百万円、支払手形及び買掛金が1,379百万円増加したことが主な要因となっております。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末の82,223百万円から1,753百万円増加し、83,976百万円となりました。これは、配当金の支払いによる減少が1,373百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2,626百万円、その他有価証券評価差額金518百万円を計上したことが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は72.1%(前連結会計年度末比1.6%減)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階で入手可能な資料に基づき2024年3月期通期の連結業績予想を検討した結果、2023年5月11日公表の連結業績予想を踏襲いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,070	33,024
受取手形及び売掛金	19,071	20,366
有価証券	927	919
棚卸資産	5,424	6,492
その他	1,176	1,459
貸倒引当金	△42	△44
流動資産合計	62,628	62,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,051	9,879
機械装置及び運搬具（純額）	4,100	4,229
土地	11,198	11,920
その他（純額）	7,243	10,603
有形固定資産合計	32,592	36,633
無形固定資産		
のれん	268	229
その他	1,425	1,373
無形固定資産合計	1,694	1,603
投資その他の資産		
投資有価証券	7,709	9,205
繰延税金資産	1,411	1,460
その他	5,086	4,908
貸倒引当金	△336	△327
投資その他の資産合計	13,870	15,247
固定資産合計	48,157	53,483
資産合計	110,785	115,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,159	14,538
短期借入金	1,425	1,436
未払法人税等	1,332	1,067
賞与引当金	2,195	2,157
役員賞与引当金	74	38
その他	5,374	7,443
流動負債合計	23,561	26,682
固定負債		
長期借入金	530	308
繰延税金負債	165	381
役員退職慰労引当金	456	448
退職給付に係る負債	2,201	2,266
その他	1,647	1,638
固定負債合計	5,000	5,043
負債合計	28,562	31,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,934	4,920
利益剰余金	68,715	69,983
自己株式	△1,901	△1,936
株主資本合計	79,856	81,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	2,334
退職給付に係る調整累計額	△17	△14
その他の包括利益累計額合計	1,798	2,320
非支配株主持分	568	580
純資産合計	82,223	83,976
負債純資産合計	110,785	115,701

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	64,091	67,865
売上原価	48,583	51,401
売上総利益	15,508	16,463
販売費及び一般管理費	11,940	12,778
営業利益	3,567	3,684
営業外収益		
受取利息	16	21
受取配当金	69	84
その他	156	156
営業外収益合計	243	262
営業外費用		
支払利息	14	12
損害賠償金	61	49
不動産賃貸原価	9	6
その他	4	8
営業外費用合計	89	77
経常利益	3,720	3,869
特別利益		
固定資産売却益	1,079	-
特別利益合計	1,079	-
特別損失		
固定資産除却損	91	12
減損損失	-	12
災害による損失	13	-
投資有価証券評価損	-	15
特別損失合計	105	40
税金等調整前四半期純利益	4,695	3,829
法人税、住民税及び事業税	1,502	1,233
法人税等調整額	30	△53
法人税等合計	1,533	1,180
四半期純利益	3,161	2,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,130	2,626



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,161	2,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	519
退職給付に係る調整額	4	3
その他の包括利益合計	△61	523
四半期包括利益	3,100	3,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,069	3,148
非支配株主に係る四半期包括利益	31	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,034	24,197	6,760	63,992	98	64,091	—	64,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	1	192	217	1	219	△219	—
計	33,058	24,198	6,953	64,210	100	64,310	△219	64,091
セグメント利益	3,203	1,081	554	4,840	3	4,844	△1,276	3,567

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,276百万円には、セグメント間取引消去△6百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,270百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,910	25,535	7,332	67,778	86	67,865	—	67,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	0	231	258	1	260	△260	—
計	34,937	25,535	7,564	68,037	88	68,125	△260	67,865
セグメント利益又は損 失(△)	3,009	1,201	732	4,943	△7	4,936	△1,251	3,684

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,251百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,245百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。